

令和3年度第1回狭山市スポーツ推進審議会（書面開催）会議結果

令和3年度第1回狭山市スポーツ推進審議会について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点より、一堂に会しての対面による会議の開催を抑制していることから、書面での開催となりました。

期間 令和3年6月21日（月）書面による審議依頼
（令和3年7月2日（月）回答期限）

議題

- （1）令和2年度社会体育関連事業実施報告について
- （2）令和3年度社会体育関連事業計画について

回答委員：池森会長、小澤副会長、木谷委員、新井（勝）委員、伊藤委員、鈴木委員、星委員、村川委員、八重樫委員、新井（忠）委員

議題

- （1）令和2年度社会体育関連事業実施報告について

【書面での意見】

- ・令和2年度はコロナのため、殆ど実践できなかったもので、ぜひ3年度、4年度といつかやれたら良いと願います。
- ・緊急事態宣言等で教室の中止決定がされる中、342名の参加があった事は評価される人数だと思います。
- ・スポーツ団体との連携事業において、私も狭山市剣道連盟の一員として「初心者剣道」の参加人数が少ないため、今後どのようにアプローチしていったら良いのかが課題です。

→（事務局より）

令和3年度「初心者剣道」については、会場となる近隣小学校へのチラシ配布や、剣道連盟の方々の募集の協力をいただき、定員20名に達することができました。

- ・子供だけでなく大人もトップアスリートと交流できたり、身近で感じる事はとっても刺激的な事だと思います。コロナ禍において、動画提供ができた事は良かったと思います。
- ・令和2年度の事業の多くは新型コロナ感染予防対策の影響により中止となったり、実施できても参加者の減少となったり、残念な実績となってしまいました。しかし、実施した中で事故もなく実行できた事はスポーツ振興課職員、関係団体の努力の賜物だと思います。ここ1、2年間で感染予防対策や、この時期の実施で得た経験を次に繋げて行ってほしいと思います。
- ・すこやか体操を各イベントで行っているが、チョット難しく誰でもが気軽に楽しめる？も

のではない。誰でも知っている「ラジオ体操」の普及展開を研究し、スポーツに楽しむ機会を増やすべきと思う。(P3)

- ・令和元年度に「彩の国ふれあいピック」夏季大会4人、秋季大会1人が出場していますが、障がい者関係施設、市民にも案内されていない。関係部局は障害者福祉課となっているが、スポーツ振興課との情報共有は元より、スポーツ分野として積極的に関与すべきと思う。(P4)

→ (事務局より)

「彩の国ふれあいピック」の開催について、障害者福祉課から情報提供を受けながら、情報共有に努めてまいります。

- ・令和元年度に西武学園文理中学校の社会選択講座で、障がい者スポーツボッチャをスポーツ推進委員が指導にあたった。出前授業の取り組みとして載せてはいかがですが。(P4)

→ (事務局より)

狭山市生涯学習まちづくり出前講座において、スポーツ・レクリエーションの振興施策を内容とした「社会体育ってなに」というメニューが掲載されておりますが、スポーツ推進委員の協力により実施可能なメニューの掲載を検討してまいります。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための十分な対策を講じて実施できたものや、感染リスクを考慮し実施を断念した事業がありましたが、オリンピック準備室・スポーツ振興課とオリンピック・パラリンピアン連携の子供たちに向けた「次世代を担う子どもたちへのエールメッセージ」動画は大変評価できます。
- ・コロナ禍の中で多くの事業が中止となり大変残念ですが、致し方ないと思います。また実施できた事業に関しては、コロナ対策が大変であったことと思います。実施にご協力いただいた皆様に感謝いたします。
- ・今までの実施状況と比較することは難しく、比較することでもないと思われます。今後も続くコロナ対策、感染症対策への知見を深め、実施方法を探ることができたことが唯一の収穫だったのではないのでしょうか。
- ・サピオ稲荷山の水泳教室について (P3)
水泳用マスクがインターネット等で賛否ある中で、水泳教室ではどのようなコロナ対策が行われているのでしょうか？

→ (事務局より)

令和2年度は、更衣室の常時換気（窓開け、ロスナイ換気扇使用）、人数制限（185名→100名に）、水泳教室では監視員も含め参加者も水泳用マスクの着用、連絡先（名前、住所等）の把握、一般のプール利用者にも連絡先（名前、住所等）の記入をお願いし、実施したとのことです。

- ・中学校の部活動に対する外部指導員の指導回数の拡充 (P9)
令和元年、2年とも8名の指導員と24名の支援員がいらっしゃいますが、第3次基本計画の中で現状維持及び増やす計画はあるのでしょうか？

→ (事務局より)

指導員は各中学校 1 名の配置となっていますが、部活動支援員 24 名は決算額の記載があることから、有償の支援員数となっており、無償の支援員を含めると 30 名が活動しています。今年度においては同人数の配置となりますが、令和 4 年度については支援員を増員するための予算要求をしていく予定とのことです。

・学校体育施設の開放事業の充実（P16）

学校の施設を開放していただきありがたいのですが、学校施設を利用している団体は 1 回／月の運営会議に参加している。コロナ禍狭い場所（体育館入口等）で打合せは感染リスクもあり、議題も少ないことからメール配信及び通知にしてほしい。

→（事務局より）

前回は回答しておりますが、運営委員会については、学校によって毎月異なる「利用のできない日」や「利用上の注意等」を利用団体が直接確認する目的以外に、児童・生徒による通常の体育館清掃では行き届かない清掃箇所を利用団体（大人）が清掃することで、双方で施設の環境美化に努めることを目的の一つとし、毎月開催することとしております。換気等、対策を取ったうえで開催しております。

議題

（2）令和 3 年度社会体育関連事業計画について

【書面での意見】

- ・令和 2 年度は剣道においても大きな大会が中止となりましたが、今年に入り、規模を縮小したりして開かれるようになりました。 コロナがまだまだ収束しない中での活動は、少し形を変える必要性もあるのかな？とも感じます。
- ・ワクチン接種が進み、コロナ対策についても色々な事がわかってきているので、昨年よりは事業が無事に終わることができると期待し願っています。
- ・ワクチン接種も市民に浸透してきました。今までできなかった事業も実施できる見通しが出てきたと思います。
- ・事業に対する安心、安全な取り組み、感染予防の対処、工夫、市民への PR も含め、みんなが安心して参加し喜びあえる事業の展開を期待しています。
- ・すでに中止、延期となった事業についても、その後の対応が考慮されているようで安心しています。
- ・中止となった教室の参加申込者に対して、ワンポイントアドバイスで心が折れずに繋がったと思います。
- ・コロナ禍の状態でも、スポーツ人口を増やすためにニュースポーツ等の紹介等動画配信を検討願います。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の関係で、令和 2 年度の種々の事業の縮小、中止があり残念です。令和 3 年度も先行き不透明な中、事務局にはご苦労があるかと思いますが、生

涯スポーツ発展のためにご尽力を願います。

- ・今年度もコロナの状況が不透明で計画、完全実施が難しい状況ではありますが、感染対策を取りながらできる事業は知恵を絞りながら実施して頂きたいと思います。
- ・一度中止された事業を復活させるためには、継続以上にエネルギーが必要だとは思いますがよろしく願いいたします。
- ・令和3年度事業については、コロナの収束が見通せない中、依然中止をしている事業が多くありますが、各教室、行事、事業についてはガイドラインに従い、無理をせず実施の判断をしてほしい。

【委員より参考】

職業柄、老若男女問わず、過度な活動自粛による運動機能及び認知機能の低下を懸念しています。市民の健康増進のため、少しでも多くの事業が予定通り、実施される事を願っています。

また、熱中症のリスクを減らすため、厚労省のガイドラインを遵守しつつ、運動中・運動直後に適時マスクを外せるように啓蒙する事が必要だと思います。

会議資料

- ・令和2年度社会体育関連事業実施報告
- ・令和3年度社会体育関連事業計画